



総合的福祉プロジェクトで何がどう変わるの？

- 例えば・・・
 - ・既存の制度を利用できない方に支援が届きやすくなる
 - ・継続的に支援が必要な世帯とつながり続けやすくなる
 - ・支援者が困ったときに、独りで抱え込まずに、相談や助言を受けやすくなる

市民一人ひとりにできることは？

普段から地域住民同士が気にかけて、お互いに支え合う地域をつくっていきましょう。

- 例えば・・・
 - ・地域の人にあいさつをする
 - ・声をかける、気にかける（郵便物がたまっていたり、しばらく見ていないなど）
 - ・地域の交流の場や居場所づくりに参加したり、新たに立ち上げる



「つながりワーカー養成講座」に参加しませんか？

- つながりワーカー養成講座って？
地域で孤立している人や孤独な人に気づき、つながり、つなげ、見守る人材を養成する講座です。講座では、個人ワークやグループワークを通じて、地域での見守りについて学べます。

- 開催日程
下記は全て同じ内容です。
どれでもご参加いただけます。

日時	2月21日(金) 13:30～15:30
場所	広田地区公民館
日時	2月25日(火) 13:30～15:30
場所	賀集地区公民館
日時	3月6日(木) 13:30～15:30
場所	湊地区公民館
日時	3月14日(金) 13:30～15:30
場所	市地区公民館

- 申込先
南あわじ市社会福祉協議会 ☎ 44-3007



「つながりワーカー養成講座」の様子

市民だれもが助け合う ふれあい 共生のまち 南あわじをめざして

～総合的福祉プロジェクト～

圏地域包括支援室 ☎ 43-5237

市では、地域福祉計画の基本理念において「市民だれもが助け合う ふれあい 共生のまち 南あわじ」を掲げています。

さまざまな困り事を抱える人に対して、市はこれまで「高齢者」「障がい者」「子ども」「生活困窮者」といった分野ごとに支援してきました。

総合的福祉プロジェクトでは、縦割りの支援体制の垣根を越え、さまざまな困り事を「世帯丸ごと」受け止め、解決に向けて、市全体で更に協力して取り組む体制整備を進めています。

あなたの周りに困っている人がいませんか？



80代の親が50代の子の生活を支える「8050問題」



仕事や学校に行かず、長期間自宅に引きこもっている「不登校や引きこもり」



介護される側とする側が互いに高齢者「老老介護」



子育てと親の介護を同時期に担う「ダブルケア」

各種相談窓口

困ったときは、ぜひご相談ください

- 高齢者・介護
地域包括支援室 ☎ 43-5237
- 教育
青少年育成センター ☎ 43-5238
- こころとからだ
健康課 ☎ 43-5218
- ひきこもり
健康課 ☎ 43-5218
NPO 法人ソーシャルデザインセンター淡路 ☎ 42-0399
- 生活困窮・障がい
福祉課 ☎ 43-5216
- 子育て
健康課 ☎ 43-5218
家庭児童相談室 ☎ 43-5239
子育て学習・支援センター ☎ 42-7703
- ヤングケアラー
家庭児童相談室 ☎ 43-5239
- 総合相談（生活上の困りごと、心配ごと）
南あわじ市社会福祉協議会 ☎ 44-3007